

4年間の学びの流れ

1年次	2年次	3年次	4年次	
リーガル・プロフェッションコース 憲法総論・統治機構論 憲法人権論 民法総則 刑法総論 政治学入門 国際政治学入門 物権法 公共政策論	Theory 憲法人権論、物権法、債権総論、親族・相続法、刑法各論、商法		債権各論、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法総論、行政教済法、民事救済手続法	
	Practice GLP (法曹コース) ※法曹志望者のために、上記講義に対応するアドバンスト科目が配置されています。			
	民法法務演習Ⅰ 刑法法務演習Ⅰ・Ⅱ		民法法務演習Ⅱ、憲法法務演習Ⅰ・Ⅱ、会社法法務演習、民事訴訟法法務演習、刑事訴訟法法務演習、行政法法務演習	
	Theory 会計と法Ⅰ・Ⅱ 労働法		会社法概論、社会保障法、租税法、消費者法	
	Practice ビジネス&ロー・ワークショップⅠ・Ⅱ		ビジネス法務インターンシップ、ビジネス&ロー・ワークショップⅢ	
	産学連携プロジェクト 野村証券ワークショップ、金融ワークショップ			
	Theory 公共政策論 行政学、政治学原論		社会保障政策論、地域コミュニティ論、地方政治論	
	Practice まちづくり八王子フィールドワーク(地域連携型) 公共政策ワークショップA		公共政策インターンシップ 公共政策ワークショップB	公共政策チュートリアル
	Peace, Human Rights & Sustainability(PHRS) Program ※地球的問題群を英語によるディスカッションを通して学びます。			
	Theory 人間の安全保障論 平和学、惑星政治学 国際法総論・各論		国際機構論 国際開発協力論	地球市民社会論 EU法
Practice 地球平和共生ワークショップ 地球平和共生フィールドワーク 人間の安全保障フィールドワーク		地球平和共生チュートリアル		
ビジネス法務コース 法学の基礎とSDGs 初年次セミナー テーマゼミ ○企業社会と法実務の最前線 —ビジネス法務のプロをめざして ○公共政策の最前線に立って 〈未来〉を考える ○グローバルキャリアのための 平和問題入門 ○惑星政治学とは何か —批判的安全保障から考えるSDGs の先	コース選択			
公共政策・行政コース など				
地球平和共生コース ●AF for Peace, Human Rights & SustainabilityⅠ・Ⅱ ●Academic Foundations for Study AbroadⅠ・Ⅱ ●AF TutorialⅠ・Ⅱ				

Pickup 授業

「安全保障」とは何か？

Security Studies
 ウルフ・ハンセン准教授



世界は米中対立のような冷戦が長期化傾向にあり、安全保障とは何か、いかにそれを実現すべきかを正確に理解することが重要です。本講義では、軍事衝突や紛争に焦点を当てる伝統的な安全保障論と、気候変動や貧困など非軍事的な安全保障上の脅威にも着目する新しい安全保障論を紹介します。また、ある問題が安全保障上の脅威にあたるか否か、「安全保障」の言葉のとらえ方を学んでいきます。ディスカッションやロールプレイを通じて今日の主要な安全保障問題を理解し、可能な解決策を創造的に考える力を身につけます。

人を殺すこと＝殺人罪？

刑法総論
 船橋亜希子講師



殺人罪は、「人を殺した者は、死刑又は無期若しくは五年以上の拘禁刑に処する」(刑法199条)と書かれた犯罪です。同じ「人」を「死亡」させる行為にも、殺意を持って相手に毒を飲ませた場合、ケガをさせようと思って殴った場合、血液型を間違えて輸血してしまった場合、飲酒運転をして事故を起こしてしまった場合など、さまざまです。「人の死亡」を招いた限り「人を殺した者」として殺人罪になる／ならない、その根拠を説明できますか？場当たり的でない一般化可能な判断に向けた論理的思考力を身につけます。

「法による平和」をめざして

国際法各論
 中山雅司教授



世界は今、ウクライナ戦争をはじめ、核、気候変動、人権、貧困、コロナなど、さまざまな脅威に揺れ動いています。時に国家間の法である国際法は国内法と比べ実効性の点で未熟といわれますが、それはむしろ主権国家が併存する国際社会の構造によるものです。国家を超えたグローバルな課題の解決と国家間の権限の調整に国際法は不可欠であり、世界秩序のあり方が問われる今、「力による平和」ではなく「法による平和」をめざす国際法の役割は一層重要になっています。国際法を通して世界がより一層よく見えてくることでしょう。